

第1回先進的まちづくり大賞について

主催：コンパクトなまちづくり推進協議会、都市みらい推進機構 後援：国土交通省

1. 趣旨

日本の各都市においては、従来から「健康・医療・福祉」「エネルギー・環境・省エネ」「安心・安全」「防災・減災」「交通」「インフラ（上下水道等）」「コンパクトシティ」「既存ストック・歴史的資産の活用」「リノベーション」「公民連携・官民連携」「ファイナンス」「タウンマネジメント・エリアマネジメント」「ブランディング」等をキーワードに、『先端技術』や『新しいまちづくりの手法』を活用した先進的なまちづくりが進められています。先進的まちづくり大賞は、他の地域のモデルとなるようなこうした取組を表彰し、国内外に広く情報共有、発信することにより、先進的なまちづくり事例の普及や取組の一層の促進支援を図ることを目的に、平成28年度から30年度まで国土交通省主催で実施された「先進的まちづくりシティコンペ」を引き継いで実施するものです。

2. 表彰（※第1回応募数8件）

―地域を活性化させ、生き生きした住民生活を実現できる、従来にないアイデアによる魅力的なまちづくりの取組・活動を評価し、表彰します。

○国土交通大臣賞 1点：受賞者：合同会社ミライズ（新潟県新発田市）

月岡温泉地区「歩いて楽しい温泉街へ」空き家・空き店舗再生事業

○都市みらい推進機構理事長賞 1点：受賞者：川西市（兵庫県）

川西市キセラ川西地区キセラ川西整備事業―「PF」と低炭素と市民参加のまちづくり―

3. 応募できる者

市区町村、あるいは、市区町村が推薦するまちづくり団体等又は市区町村とまちづくり団体等の連名

4. 審査委員会

委員長	高橋 洋二	東京海洋大学 名誉教授
副委員長	岸井 隆幸	日本大学 特任教授
委員	中井 検裕	東京工業大学環境・社会理工学院 教授
〃	足立 基浩	和歌山大学経済学部 教授
〃	伊藤 香織	東京理科大学理工学部 教授
〃	伊藤 伸一	株式会社建設環境研究所技術本部技師長

上記以外に、国土交通省、主催者（順不同、敬称略）

5. スケジュール

募集	1月～2月（約2か月）（※第2回は本年11月より募集を開始する予定）
審査	3月～5月（委員会2回、必要に応じ現地調査実施）
公表	5月27日
表彰	国土交通大臣賞：6月14日、その他の賞：7月30日